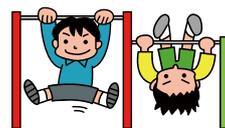


# ぼくの学校、わたしの学校

市内の小中学校を児童・生徒のみなさんがPR！

## 麻生中学校



個性を生かす教育を一層充実させ、一人一人に生きる力をはぐくみ、未来を切り拓く生徒を育成する。

◆所在地 行方市島並 1285 ◆電話 0299-72-0120

◆学校長 大原 甚一 ◆職員数 25人 ◆児童数 225人

◆開校日 昭和40年4月1日（麻生中、行方中、小高中が統合）



平成21年度 翠松祭

**学力の向上を目指して**  
麻生中学校は、霞ヶ浦を臨む高台に位置し、周囲を緑に囲まれた、豊かな自然環境に恵まれた学校です。特に力を入れているのが「学力の向上」です。国語科を中心として複数教員（T・T）による授業や、少人数学習を取り入れた学習形態の工夫、生徒同士の学び合い学習の推進などにより、生徒一人一人が「できた」、「分かった」という思いをもてるよう努めています。もう一つは、「所属感、達成感を味わえる学校生活の充実」に向けた取り組みです。今年は、職員の研修テーマを「学校生活の向上を図るために、課題解決できる生徒の育成」とし、自ら考え、判断し、問題解決できるような話し合い活動の充実を図られるよう取り組んでいます。そのような学習を通して身に付けた力は、各教科の学習の基礎になるとともに、生徒の主体的な行動にも結びつくと考えています。



平成21年度 体育祭

### 伝統を受け継ぐ！

我が校の二大イベントは「体育祭」と「翠松祭」です。そのうちの一つ、「体育祭」を紹介しましょう。

「体育祭」は、生徒が主体となつて夏休み前から始動します。そして、学年を縦割りにし、「理想」、「友情」、「栄光」（校歌からとった団名）の三分団に分かれ優勝を競い合います。その中でも、分団による応援合戦は目を奪うものがあります。練習や話し合いは、応援団長をリーダーとして、夏休み中から何度も何度も繰り返して行われます。そしてよいものが少しずつできあがっていく過程を後輩たちは見たり、経験したりすることで、先輩たちのリーダーとしての取り組みの数々をよいお手本としていくこととなります。その中で「来年は、僕も、私もリーダーとして活躍したい」というように、すばらしい伝統が受け継がれています。



松澤 一秀さん（3年）

体育祭や文化祭などの行事を成功させるために友達と共に目標に向かって挑戦していくと、とても団結力が深まります。そのため麻生中の生徒はみんな仲良しです。

また、部活動では各部の目標を達成するために、日々、練習に励んでいます。



高栖 加奈さん（3年）

私たちの学校の生徒は元気に大きな声で挨拶ができます。先生方はもちろん先輩方や、地域の方たちにも挨拶ができます。挨拶をすることで心が広くなる感じがします。

また学校のまわりは桜、百合の花、藤の花、バラ、山もも、ザクロなど自然がいっぱいです。

## ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな人を紹介していきます！

### 立原さん 高塚さん

（麻生保育園）

子ども達に好かれ、保護者の方にも信頼されるような保育士になりたいと思っています。

心で心を育てていく保育を目標に日々の保育に取り組んでいます。これからも日々努力していきますのでよろしくお祈りします。



## ◆編集後記◆

インターシップ研修生のパンさんのホームステイ先には、いつも近くの方が野菜を持って会いに来てくれるそうです。その野菜を使って自分で料理もするとのことで、韓国に戻りましたら、ぜひ行方野菜をPRしてください。（保）

霞ヶ浦に浮かぶ帆引き船は行方市を象徴する風景です。市になって初めて造船された観光帆引き船『なめがた丸』が完成し、進水式が行われました。優美な帆引き船が似合う美しい霞ヶ浦を守っていきましょう。（友）